

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.305

令和6年(2024年)
8月1日発行



かなざわしづなみひなんちず 金沢市津波避難地図 【全体版】TSUNAMI Hazard Map

この「金沢市津波避難地図」は、石川県が作成した「石川県津波災害警戒区域図」をもとに、市民の皆様が津波から避難するために必要な浸水情報や避難情報などの各種情報をまとめたものです。

津波からの避難に備え、日頃からこの「金沢市津波避難地図」を利用していただき、市民の皆様と町会、自主防災組織による行動で少しでも被害を減らしたいと考えております。

実際の津波はどのような状態で襲ってくるかわかりません。いざという時に安全な場所へ避難できるよう、自宅や職場の危険性を把握し、避難路を確認しておきましょう。

津波のおそれがあるときは、「海や川から離れ、高いところへすぐ避難!」してください。



令和6年5月に津波・水害ハザードマップが更新されました(抜粋)

[金沢市防災マップ](#) [検索](#)

目次

- ・6月定例会議の概要等…………… P. 2
- ・本会議の発言から…………… P. 3～P.13
- ・審議結果、議員別賛否一覧…… P.14～P.15
- ・常任委員会の活動状況、議会日誌、
9月定例会議の日程…………… P.16

発行/金沢市議会

編集/議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

[金沢市議会](#) [検索](#)

または、こちらをご覧ください。⇒



令和6年度金沢市議会 6月定例会の概要

令和6年度金沢市議会6月定例会が6月11日から25日までの15日間、開催されました。

◇6月11日 議案上程・提案理由説明

在職10年の議員5名の表彰が行われた後、高誠議長に代わり、議長選挙が行われ、新たに喜多浩一議員が議長に選出されました。次に村山市長から、能登半島地震関連や地域の活性化に資する経費総額115億6,287万2,000円の補正予算や兼六小学校の校舎移転整備工事に係る請負契約の一部変更についての議案が提案され、提案理由の説明が行われました。

表彰を受けた永年(10年)在職議員

上田 雅大、中川 俊一、小間井 大祐、
新谷 博範、熊野 盛夫

◇6月19日、20日、21日 質疑・一般質問

19日から21日までの3日間にわたる本会議では、21人の議員が質疑や一般質問を行いました。

◇6月24日 委員会審査

24日には、5つの常任委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

◇6月25日 討論・採決

討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。議員提出の議案10件は、7件が可決、3件が否決され、陳情2件は、不採択となりました。

◎議長選挙の結果

喜多浩一 議員 33票 森尾嘉昭 議員 3票
坂本泰広 議員 1票 無効 1票



議長就任あいさつ

能登半島地震の発生で、多くの方が今なお大変な思いをされています。県庁所在地である金沢市が先頭に立ち、県全体を引っ張っていく覚悟です。これからもどうかよろしく願います。(第96代議長 喜多 浩一)

市長の施政方針(要旨)

◇能登半島地震対策

本市被災者の安全確保や生活支援、公共インフラの応急復旧に加え、能登被災地への支援など、引き続き復旧・復興に向けて、切れ目のない効果的な対策を講じる。大規模な斜面崩落があった田上新町や液状化による被害が生じた栗崎地区などについて、被災地区復旧技術検討会議を立ち上げ、被災地区ごとの特性や実情に応じた工法を検討し、本格的な復旧に取り組む。

◇能登被災地への支援

8月中旬に希望者全員の仮設住宅が完成すると県の見通しを踏まえ、本市避難所運営を8月末まで延長する。また、金沢文化スポーツコミッションの誘致によるモルック競技の震災復興スポーツ大会を11月に七尾市で開催するなど、能登と金沢の交流を図りながら能登の復興を支える。

◇市民の健康の増進

健康分野における国際的なネットワークである健康都市連合への加盟が北陸で初めて認められたことを機に、未病対策などに関する先進都市のノウハウを得ながら施策展開を図るほか、熱中症対策として本市公共施設の一角に避暑休憩のためのクーリングシェルターを設ける。

◇環境に係る取組

ゼロカーボンシティかなざわの実現に向け、市公共施設照明のLED化をPFI方式で導入することが最も有効であると事業検討委員会で判断されたため、来年度の着工に向け手続を進める。また、来年4月から実施する製品プラスチックの分別収集・資源化に向けて、市内全町会等を対象とした説明会を開催するなど、円滑な導入に向け取り組む。

◇都心軸について

金沢駅東から片町に至る都心軸について、都市再生緊急整備地域準備協議会の会議を開いた。引き続き議論を深め、地域整備方針の素案をつくり、国による早期指定を目指す。さらに、片町四番組海側地区の法定再開発事業が来月にも都市計画決定を受けることから、基本設計及び事業計画策定を支援し、にぎわい創出につなげる。

◇北陸鉄道線への支援

国の支援制度を最大限に活用できる「みなし上下分離方式」の導入と支援に係る負担について、県や沿線市町との協議が調ったため、令和7年度から15年間の計画事業費を支援する。鉄道線を地域の財産と位置付け、利便性向上や運転士不足対策に一丸となって取り組む。



本会議の 発言から

6月19日(水)、20日(木)、21日(金)にかけて、21人の議員が質疑や一般質問を行いました。

6月19日(水)

- ・久保 洋子 議員 (自民党) P. 3
- ・森 一敏 議員 (みらい金沢) P. 4
- ・稲端 明浩 議員 (公明党) P. 4
- ・玉野 道 議員 (創生かなざわ) P. 5
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P. 5

6月20日(木)

- ・小間井大祐 議員 (自民党) P. 6
- ・坂本 順子 議員 (みらい金沢) P. 6
- ・坂 秀明 議員 (公明党) P. 7
- ・道上 周太 議員 (自民党) P. 7
- ・大西 克利 議員 (創生かなざわ) P. 8
- ・山下 明希 議員 (日本共産党) P. 8
- ・黒口啓一郎 議員 (みらい金沢) P. 9
- ・麦田 徹 議員 (自民党) P. 9

6月21日(金)

- ・宇冢 裕基 議員 (自民党) P.10
- ・川島 美和 議員 (みらい金沢) P.10
- ・熊野 盛夫 議員 (創生かなざわ) P.11
- ・広田 美代 議員 (日本共産党) P.11
- ・下沢 広伸 議員 (金沢さくら会) P.12
- ・高務 淳弘 議員 (創生かなざわ) P.12
- ・新谷 博範 議員 (みらい金沢) P.13
- ・坂本 泰広 議員 (自民党) P.13

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
久保 洋子 議員



金沢方式の見直しについて

問 現行の金沢方式の効果についての見解と、本市の実情をどのように分析し見直しに反映していくのか聞く。

答 金沢方式は、地域が一定の負担をしながら活動の自主性・自立性を担保することで地域連帯を強め、協働を育む大きな役割を果たしており、この理念は本市のまちづくり文化として将来にわたり継承すべきと考えている。一方で人口減少・少子高齢化や地域活力の低下など環境が変化する中、持続可能な金沢方式への見直しが必要なため、来年4月からの適用開始を目指して地元の負担軽減の在り方を検討する。
(市長)

不登校の子どもの急増について

問 なぜ、不登校の子どもの急増しているのか。また、生活リズムの乱れ、体の不調等といったアンケート結果について危機感を感じるが、見解を聞く。

答 長期化したコロナ禍で、保護者の登校意識の変化や生活リズムの乱れやすい状況が続く、良好な交友関係を築くことが難しくなり、登校意欲が湧きにくくなったことが不登校増加につながっていると考える。体調不良等の要因として、ネットやゲーム依存による昼夜逆転生活や、家庭環境に起因するものも考えられ、多面的視点で不登校の要因を探り、家庭や関係機関と連携して対応する。
(教育長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 歴史的建造物の復旧助成について
- 2 金沢方式の検討について
- 3 マイナ保険証普及について
- 4 依存症対策について
- 5 不登校支援について



みらい金沢
森 一敏 議員



原発防災に関して

問 今年度実施する地域防災計画の見直しでは、原子力災害対策計画においても能登半島地震からの教訓、放射性物質放出事故との複合災害の特殊性を十分に踏まえねばならない。課題をどのように整理しているのか聞く。

答 能登被災地で多くの地区が孤立したことから、複合災害の視点での原子力災害対策が重要な課題だと認識した。今後、広域避難者の受入れや、他市町との協力体制について、県から示される地震被害想定の結果を踏まえて見直す。
(市長)

教科書採択について

問 子どもたちにふさわしい教科書の選択は、特定のイデオロギーや政治的な必要性ではなく、歴史学者及び専門職としての教員の手に残されるべきであると、国連が考え方を示している。これに対する教育長の所見を聞く。

答 国連・子どもの権利委員会の是正勧告を踏まえ、今回の検定の基準においても、国際理解と国際協調の見地から必要な配慮がなされている。平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の育成や、発達段階への適応性、教材の客観性や正確性などを踏まえて審査された教科書の中から、本市の採択方針に基づき公正かつ適正に採択されたものであり、採択手続を含め問題ないと考えている。
(教育長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢における能登半島地震被災地・被災者支援に関して
- 2 原発防災に関して
- 3 国の補充的指示権を創設する地方自治法の一部改正について
- 4 教科書採択について
- 5 市民のつぶやきから



公明党金沢市議員会
稲端 明浩 議員



被災宅地復旧などの各種制度の周知と相談対応について

問 被災宅地復旧などの各種制度の周知と相談対応をどのように行うのか。

答 被災した宅地の復旧や住宅の耐震化を支援する制度の新設に伴い、第一本庁舎4階の被災者生活支援総合窓口を拡充し、専用電話の開設や土木・建築の専門職員による制度説明、各支援制度の最適な活用方法などの相談を実施する。また、各支援制度の分かりやすいリーフレットを作成するほか、ホームページや市公式LINE、新聞広報等を通じ、市民及び復旧工事に携わる事業者等に対し様々な機会を通して周知していく。
(市長)

下水道管路の被害と復旧スケジュールについて

問 下水道管路の被害状況と復旧の進め方及び今後のスケジュールを聞く。

答 道路陥没や流れが悪くなった箇所を中心に調査を行った結果、現時点で35.6キロメートルの被害が判明している。今補正予算では、仮設ポンプにより応急対応している箇所や道路陥没が大きく発生している箇所など、特に被害が大きい15.1キロメートルの復旧費を計上している。復旧工事については、被害延長が大きく、引き続き調査を行っていることも踏まえ、令和8年度までの3か年を予定している。
(公営企業管理者)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 6月補正予算について
- 2 地域防災計画の改定について
- 3 共同親権法制化への対応について
- 4 不登校支援と不登校を生まない教育について



創生かなざわ
玉野 道 議員



次期かなざわ子育て夢プラン策定への考えは

問 次期かなざわ子育て夢プランが、国の書換えでない本市独自の少子化対策となるよう、策定に向けた市長の考えを聞く。

答 次期かなざわ子育て夢プランの策定に当たっては、市長、副市長及び全局長で構成する会議で議論を深めるとともに、若手職員なども含め多様な視点で知恵を絞っていく。また、これまで以上に若者や子育て当事者のニーズを反映し、若い世代が結婚や出産に希望が持てるまち金沢を目指していきたい。(市長)

学都金沢のまちづくりに関して

問 学生の定住に向けた施策の強化と「学都金沢」としての施策の再構築について聞く。

答 本市では、8つの大学と連携協定を締結し、まちづくりや文化、産業等の分野で連携した取組を進めている。昨年度から学生が地域等での活動を通じて地域課題の解決に取り組む実践型の授業を開始したほか、今年度は新たに卒業後の市内定着に向けた社会人との交流会を開催するなど、連携のさらなる拡大を図っている。学生たちが金沢に愛着を持つとともに、様々な場面で活躍できる環境を整えることが卒業後の定着・定住にもつながってくるものと考えており、若い世代が、住み続けたいと思えるまちづくりを積極的に進めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 少子化対策と子育て支援策に関して
- 2 本市の「未来共創計画」に関して



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員



能登半島地震による液状化対策について

問 栗崎地区でのボーリング調査の結果はいつ出るのか、また、公費による地盤改良を実施するのか。

答 ボーリング調査はおおむね15か所程度を想定しており、調査を完了した箇所から順次液状化対策の検討に反映していく。国の宅地液状化防止事業の活用を検討しており、住民の意見を聞きながら検討する。(市長)

学校給食費無償化について

問 県内11市のうち、学校給食費の無償化未実施は金沢市及び野々市市だけだが、市民にどう説明するのか。

学校給食費の無償化・実施を求めます。(高岡市議)
県内11の市の中で実施していないのは
金沢市と野々市市だけ
「全国一律で実施されることが望ましい」(村山市長)

石川県11市 学校給食無償化の現状	
無償化開始	(2024年6月現在)
金沢市	
白山市	R6年4月中学校無償化
小松市	R5年4月小中学校無償化
加賀市	R4年2学期から 小中学校無償化
野々市市	「要望を強く受け止めると 市長答弁」
能美市	R5年2学期から中学校、 3学期から小学校無償化
七尾市	R5年4月小中学校無償化
かほく市	R6年2学期から中学校、 小学校も検討中
輪島市	R4年2学期から中学校、 R5年1学期から小学校無償化
羽咋市	R5年までに中学校、 R6年4月小中学校無償化
珠洲市	R6年4月小中学校無償化

答 中核市での実施は3市にとどまっており、このことも議論に加える必要がある。国主導による全国一律の実施が望ましく、現時点で無償化は考えていないが、国の動向を注視したい。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 核兵器禁止条約をめぐって
- 2 能登半島地震と今後の対策について
- 3 市民生活と営業の現状と支援策、学校給食費無償化について
- 4 金沢市観光協会、金沢文化スポーツコミッションについて



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員



都心軸の再興における老朽ビルの更新について

問 旧耐震基準の建物が約半数を占める本市都心軸において、老朽ビルの更新はビル所有者だけでは簡単に解決できない課題だが、更新率向上のための今後の方針を聞く。

答 老朽ビル更新は、防災面、都市景観やまちづくりの観点から喫緊の課題である。今年度は建物の規模・構造や権利関係等の現況調査を実施し、都市再生緊急整備地域の指定に向けた取組状況を踏まえ、老朽ビル更新に向けた支援の方法を研究していく。(市長)

消防隊員の長期的な健康被害の回避について

問 火災現場で発生するすすなどの発がん性物質が防火衣に付着し、長期的な健康被害を引き起こすことが分かっている。本市消防隊員及び火災現場付近で活動する消防分団員の防火衣の洗浄について今後の対策を聞く。

答 現在の洗浄を継続するが、国のガイドラインが示されれば、防火衣専用の洗濯・乾燥機の整備に対応していく。消防分団員についても必要に応じた洗浄の周知を図っていく。(消防局長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 本市都心軸の再興について
未来共創計画における都心軸の再興 / 都市再生特別地区適用と本市まちづくり計画のバランス / 特別地区適用における地域整備方針と開発ごとの本市の参画 / 地域整備方針へ「声」の反映 / 創造的再興に向けて / 老朽ビル更新と災害対策 / 防災機能強化に向けた本市独自の支援 / 金沢らしい広見の再興 / 都心軸の防災管理体制見直し / 都心軸を挟む犀川・浅野川
- 2 発がん性物質による消防隊員の健康被害の回避について
発がん性物質による長期的な健康被害への認識と防火衣洗浄についての現状 / 常備消防と消防分団の火災現場後の防火衣洗浄に対する今後の対応



みらい金沢
坂本 順子 議員



中央教育審議会の提言について

問 教育長は、中央教育審議会が提言した「令和の日本型学校教育を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策」をどのように評価しているのか。

答 本提言は、教職の魅力を向上させ、子どもたちの教育のために、優れた教師を確保しようとするものであることから、本提言に基づく取組が着実に実行され、教師を目指したいという人材がより多く集まることを強く願っている。(教育長)

奥卯辰山墓地公園の土砂崩落について

問 奥卯辰山墓地公園の西側斜面の大規模な土砂崩れにより、相当数の墓石に被害があったが、管理責任はどこにあるのか、また、今後跡地をどうするのか。

答 市が管理運営する市営墓地の貸出し区画が崩落したことから、市に管理責任がある。跡地での墓地区画の再整備は予定しておらず、現地付近に慰霊碑を建立し、合葬する予定である。今年度中に本格復旧工事に着手し、慰霊碑の建立も合わせて来年度中の完成を目指している。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 教育について
教職員の働き方について / 防災ヘルメットや防災頭巾の備蓄について / 水泳授業について / 自転車通学について
- 2 子どもの学習総合支援事業について
派遣型について / 拠点型について
- 3 卯辰山地区について
奥卯辰山墓地公園について / 見晴らし台の整備について
- 4 終活について
終活支援事業について / 終活登録について



公明党金沢市議員会
坂 秀明 議員



心のサポーター養成制度の導入について

問 心の不調を抱える人が相談先や医療機関とつながるためには、身近な同僚、家族等が気づき、理解し傾聴できるか否かが大きなポイントとなる。心のサポーター養成制度導入に積極的に取り組んでもらいたいが見解を聞く。

答 今年度、心のサポーター養成研修の講師となる指導者の養成から始めることとしており、次年度以降は、関係各機関と連携をしながら広く研修を実施し、なるべく多くの心のサポーターを養成できるよう取り組んでいく。
(市長)

オンライン相談システム「KOKOROBO（ココロボ）」の活用を

問 KOKOROBO（ココロボ）を使用することで、ストレス診断やAIチャットボットとのやりとりを通して気持ちの整理ができる。心の悩みを一人で抱え込まずに相談窓口や医療機関につながりやすくするためにも、ココロボの活用が必要と考えるが見解を聞く。

答 ココロボのオンライン・SNS相談は、都心部など一部エリアに限られているため、対象エリアの拡大について注視していく。本市では、AIチャットボットなどの利用に限られているが、支援機関や医療機関に相談する前に、自分自身がこのチャットを通じて考え方や気持ちを整理することは非常に有意義であることから、この機能について、情報提供していきたい。
(福祉健康局長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 カスタマーハラスメントについて
- 2 心のサポーター養成制度について
- 3 災害時のトイレについて
- 4 ゼロカーボンシティかなざわについて



自由民主党金沢市議員会
道上 周太 議員



かなざわ子育て夢プランの見直しについて

問 次期プランの策定に当たっては、市民の意識改革を促し、子どもや子育て世帯を社会全体で支える機運を醸成させるために、特にどのような点に注力していくのか、あわせて広く市民にプランを知ってもらうために、若い世代がなじみやすい名称に変更する考えがあるのか聞く。

答 若い世代が結婚、出産、子育てに希望が持てるよう、これまで以上に未来を担う若者や子育て当事者の意見を取り入れながら施策などについて知恵を絞っていく。その際、プランの名称も策定過程において、有識者などの様々な意見を聞き、変更することも含め検討していく。
(市長)

金沢市と能登地域をつなぐ関係人口について

問 本市には能登半島地震からの復旧・復興の過程において、住民が様々な形で継続的に能登地域と関わり続けることができるような中長期的な支援が求められている。本市と能登地域をつなぐ関係人口の取組や、中長期の支援の在り方について所見を聞く。

答 出張輪島朝市事業への補助に加え、被災地で炊き出しを行う各種団体等に対する支援を行なっている。これらが能登地域と本市住民との支え合いの基盤となり、関係性を深めることにつながると考えている。県でも復興プロセスを生かした関係人口の拡大が示されており、状況を注視して切れ目のない効果的な対策を講じていく。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢市の情報発信について
- 2 こども施策、次期かなざわ子育て夢プランについて
- 3 関係人口の創出・拡大について



創生かなざわ
大西 克利 議員



子ども医療費助成について

問 子ども医療費の助成については、15歳までと同様の窓口負担があっても、18歳までの対象年齢引上げを望む声は大きい。さらなる制度の拡充について市長の考えを聞く。

答 子育て支援には医療費の助成以外にも福祉や保健、教育から文化スポーツまで多様な政策がある。今年度も拠点型子ども宅食の実施や児童クラブの新設などに係る施設利用料の助成の拡充などに取り組んでおり、子ども医療費助成のさらなる拡充については現時点では考えていない。
(市長)

児童手当の拡充について

問 児童手当が改正され、支給が高校3年生まで延長されるとともに、第三子以降についても加算が拡充され、所得制限も撤廃された。市として対象となる世帯にどのように制度を周知し支給していくのか、今後のスケジュールを聞く。

答 新たに支給の対象となる世帯については9月初めから順次申請書を送付し12月より支給を開始する。既に手当を受給している世帯にも、変更点を掲載した案内を送付することとしており、新聞やホームページ、公式LINEを通じて制度周知に努めていく。
(こども未来局長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢市の人口の推移と課題について
- 2 自転車の安全な利用について
- 3 金沢美術工芸大学について



日本共産党金沢市議員団
山下 明希 議員



生理用品の無償配布事業について

問 無償配布に防災備蓄を活用しているが、入替えがなければ在庫が不足するという事態が生じていることや、ホームページでしか周知されていない状況には課題がある。防災備蓄の活用だけでなく、生理用品購入費の予算化や、配布日・配布場所の拡充を求めると見解を聞く。

答 今後は単なる生理用品の配布にとどまらない、困難を抱える女性の相談支援と合わせた事業として、手続の見直しを含めて検討していく。
(市長)

教科用図書の採択について

問 公開された議事録では発言者名が分かるのに、なぜ会議の公開を渋るのか、非公開にする理由がないとの声が上がっている。公正で透明性のある会議の運営について、市民の要望は採択会議を傍聴可能な公開にすることであり、中学校の教科書採択の教育委員会議を公開するよう求めるが見解を聞く。

答 昨年7月の教育委員会議において、会議は意思形成過程であり、静ひつな採択環境の中で自由闊達な議論を行うこと、公平性・中立性を保つ必要があることから非公開とすることに決定した。したがって、中学校教科用図書の採択に係る教育委員会議を公開することは考えていない。
(教育長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 子育て施策について
- 2 金沢市の女性支援について
- 3 2025年度使用図書(中学校用)の採択について
- 4 地方自治法改定案をめぐって



みらい金沢
黒口 啓一郎 議員



能登被災者の支援について

問 金沢市内でみなし仮設住宅に入居した能登被災者の孤独な状況を防ぐ手だてとして、今後どのような取組を加えていくのか。

答 現在、金沢市社会福祉協議会が、金沢福祉用具情報プラザにおいて、被災者の交流や支援相談の場等を開催して、不安や孤独感の軽減を図っている。今後、市内の各地域でも同様の取組を行うことができないか地域の関係団体と協議したい。
(市長)

熱中症対策について

問 グラウンドやテニスコートで日陰となる場所の確保が屋外での熱中症対策の一つと考える。直射日光や地面からの赤外放射を避けることで、ひなたと日陰では体感温度が7度違うと言われている。屋根のあるベンチや日よけのひさしを設置することが、熱中症対策につながると考えるが見解を聞く。

答 スポーツ施設設備に関する国の指針では、熱中症対策として屋根のあるベンチ等の整備は求められていない。今のところ、新たに整備することまでは考えていないが、屋外でも安全にスポーツを行える環境を整えることは大事な視点だと捉えている。今後、熱中症対策に係る国の動向等を注視していく。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 補正予算案について
- 2 防災・減災の見直しについて
- 3 熱中症対策について
- 4 自治体DXについて
- 5 生成AIの活用について



自由民主党金沢市議員会
麦田 徹 議員



新たな工業団地の在り方について

問 近隣の富山西及び福井北インターチェンジ周辺地域の工業地区への用途変更の状況から、同等の交通結節点である金沢東インターチェンジ周辺についても産業誘致が検討されるべきではないかと考えるが見解を聞く。

答 今年度、市内企業を中心に実施するニーズ調査において、工場や物流施設等の新設や、拡張移転の計画があるのか、希望するエリアはどの辺りなのかなど、今後の工業団地の在り方について、検討し判断していく。
(市長)

修学旅行誘致における補助教材について

問 修学旅行は旅行とはいえ、学習の一環となるため、事前に金沢について学習していると思うが、事前学習から実際に現地でも感じてもらうまでをセットとして誘致できるような補助教材を作成してはどうか。

答 事前学習の素材については、現在、金沢市観光公式サイトの中に修学旅行ガイドの特集ページがある。事前学習に役立てるため、歴史やまち並みなどを学ぶことができるコンテンツを掲載しているが、今後、修学旅行で訪れる学校の事前学習により有効に活用することができるよう、学校現場の意見を取り入れながら、修学旅行ガイドのページを充実させていく。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 都市計画マスタープランについて
- 2 新たな工業団地について
- 3 城北市民運動公園について
- 4 修学旅行誘致について
- 5 月の石について



自由民主党金沢市議員会
宇野 裕基 議員



文化を基軸としたまちづくりの未来について

問 地方公共団体の目的は住民福祉の向上だが、金沢市の文化重視施策が住民福祉向上にどのように寄与しているのか。常日頃から、文化芸術に関わることができない市民も多く、リーダーとして市長が言葉で示せば市民は安心すると考えるが、市長の所見を聞く。

答 住民福祉の向上は、単に福祉健康局やこども未来局が担う福祉という意味のみではない。精神的な安らぎ、感動の共有、他者との一体感など、文化は暮らしに豊かさをもたらすことができる。「する」だけでなく、「見る」、「支える」、「応援する」、「語る」など文化活動は非常に幅が広い。金沢の強みである文化を将来にわたって継承するとともに、全ての人にとって共通のよりどころとして生かしていく。(市長)

令和6年能登半島地震での災害関連死について

問 避けられる死は少しでも減らす必要があるが、金沢市直下で災害が発生した場合に備え、災害関連死の予防や対策について、市民への周知をより一層進めていくべきではないか。

答 今回の地震での災害関連死の原因を分析した上で、平時からの市民啓発も含め、具体的な防止策について専門家の意見も聞きながら検討していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 文化を基軸としたまちづくりの未来について
- 2 歴史的円安による市政への影響
- 3 令和6年能登半島地震について
- 4 金沢ボランティア大学校を活用したまちづくりについて
- 5 健康都市連合への加盟について



みらい金沢
川島 美和 議員



不妊治療と仕事との両立支援について

問 妊娠・出産を望む人が不妊治療を受けながら働き続けるためには、企業における理解に加え、両立を後押しする取組が必要であり、企業に対しての積極的な啓発・研修により、当事者を支援する企業を増やしていくことが必要だと考えるが、本市の見解を聞く。

答 不妊治療休暇制度の先進事例をホームページやリーフレットを通して紹介するほか、働き方改革セミナーで不妊治療への理解を深める機会を設けるなど、不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりを積極的に促していく。(市長)

災害時のペットとの避難について

問 避難所等でのペット受入れの進捗状況と今後の取組を聞く。

答 今回の能登半島地震では、避難所を運営する現場職員の考えで、額谷ふれあい体育館の用具庫でペットを預かることができたことは一定の評価をしているが、本市で大規模災害が発生した際の対応には課題が多いと考える。今回の経験を踏まえ、国の動向や他都市の取組を注視し、地域防災計画の見直しの中で検討していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 不妊治療と仕事の両立支援について
- 2 性犯罪被害者への支援について
- 3 デートDVについて
- 4 災害時のペットとの避難について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員



集落営農の考え方について

問 国の大きな目標である自給率向上のためには、国の補助の枠組みから漏れる小規模な集落営農などの団体こそ、市として支えるべきではないか。

答 農業従事者の高齢化や担い手不足などが課題となる中、地域の農業を維持するために、集落営農は有用な形態であると考えている。そのため、本市独自の集落営農の組織化に向けた支援のほか、小規模集落営農に対する農業用機械やビニールハウス導入等への助成を行っている。引き続き、県やJA等関係団体と連携し集落営農の育成支援に努めていく。(農林水産局長)

有機フッ素化合物——PFASの水質汚染について

問 発がん性が指摘されているPFASのこれまでの調査状況と結果、PFASの代表物質であるPFOSとPFOAの吸着除去に使用された活性炭の実態調査について聞く。

答 本市では、河川の水質管理を強化するため、昨年度より主要な河川において有機フッ素化合物であるPFOS及びPFOAの測定を開始しており、測定した結果、全ての河川において両物質の合計量は国の定める暫定指針値を下回っている。本市には、活性炭再生事業者がないため、今のところ特段の対策を講じていないが、今年度、環境省が活性炭の処理状況を把握するため実態調査を行うことから、その調査結果を注視していく。(環境局長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市の農業振興について
- 2 旧北国街道について
- 3 ドローンについて
- 4 有機フッ素化合物——PFASの水質汚染について

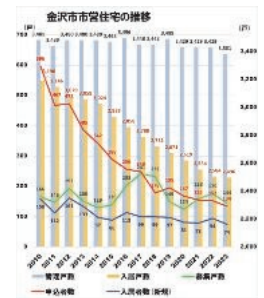


日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員



市営住宅の活用を

問 本市市営住宅の入居が減り、空き室が576戸と増えている。所得基準を引下げ、市町村税滞納要件を緩和し、連帯保証人規定を廃止するとともに、浴室設備の整備を進め、セーフティーネットとして、また、若い世帯向けにももっと活用すべきではないか。



答 国や他の自治体の状況について注視しながら、住環境の向上を含めて検討・研究していきたい。(市長)

金沢方式の検討について

問 金沢方式は法的根拠がない本市独自のものだが、一方で公共施設は公的に設置し運営するという法律がある。一律地元負担となると税金の応能負担の原則からも反する。また、地元住民が事業を説明し集金まで行うことに大変な労力がかかっている。検討会では、公共施設は市が財政的に責任を持つ議論を行うべきではないか。

答 7月に開催する懇話会においては、地域課題等についての意見を改めて聞いた上で、地元負担の軽減等を含めた在り方について検討する。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 市営住宅について
- 2 自衛隊への名簿提供について
- 3 金沢方式について



金沢さくら会
下沢 広伸 議員



粟崎地区の復旧工事と液状化対策について

問 能登半島地震で被災した粟崎地区について、復旧をどのように進めていくのか、液状化対策と今後の支援内容拡充の考えも含めて聞く。

答 液状化被害の大きい粟崎地区に関しては、将来の液状化リスクの低減のために国の宅地液状化防止事業を活用した場合、事業期間が長期にわたることから、被災宅地等復旧支援事業費補助により先行して宅地の復旧工事に取りかかれるよう、年内には液状化対策と復旧計画を地元で提示したい。また、支援内容拡充に関しては、復興基金の活用について石川県と協議・調整し、実効性の高いものになるよう本市の実情を伝えていく。 (市長)

空き家の居住や売却の取組について

問 京都市では、空き家税なる「非居住住宅利活用促進税」を導入することとした。これは、空き家・空き地等の活用対策としているが、京都市の税導入や本市の対策についての思いを聞く。

答 現在、専門家による相談・流通促進や、空き家バンクによる情報提供、地域と連携した活用支援など所有者や利用者に寄り添うことを基本としており、所有者の負担になる独自課税は考えていないが、活用や流通をさらに促進させるよう引き続き検討していく。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 能登半島地震関連について
- 2 空き家や歴史的建造物の対策について
- 3 観光振興について
- 4 ライドシェアの取組について
- 5 教員を取り巻く環境について



創生かなざわ
高務 淳弘 議員



太陽光パネルの経済性について

問 電力構成の多くを再生可能エネルギーとする国は電気料金が高額となっているが、本市の太陽光パネルによる再生可能エネルギー重視の方向性を見直す必要はないか。

答 電気料金の構成に再生可能エネルギーの比率が影響していることは認識しているが、地球温暖化防止の観点から太陽光パネルによる発電は有効な手段であり、方針を見直すことは考えていない。 (市長)

金沢マラソンに関して

問 金沢マラソンが地域経済へマイナス効果をもたらしているとの声があるが、経済効果を企業アンケートなどで収集しているか、また、コースを二、三年に一度見直す検討はしないのか。

答 企業アンケートは収集していないが、金沢マラソン組織委員会において様々な団体の声を聞きながら実施方針を決めている。また、経済効果を波及させるため、回遊を促すマップの提供など、工夫を凝らしている。

コースは金沢の魅力を満喫できる回遊型としており、警察などの関係機関と協議を重ね、設定したものであるため、頻繁なコース変更は交通規制の周知や定着が難しく、混乱を招くおそれもあり、今のところ変更は考えていない。 (市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 ゼロカーボンシティ推進課設立に伴う現状と今後、考え方の確認
- 2 環境問題と森林資源の有効活用について
- 3 再生可能エネルギーを取り巻く課題について
- 4 中心市街地の活性化について



みらい金沢
新谷 博範 議員



民生・児童委員の確保について

問 民生・児童委員の役割は重要であるが、その業務を担い、継承する市民が地域で不足している。金沢市民生委員児童委員協議会に対し、市行政による現状把握と抜本的な民生・児童委員の確保支援を行政が提案すべきではないか。

答 来年12月の改選に向け、民生委員児童委員協議会の意見も聞きながら、ICT導入による効率化など事務負担の軽減に努め、人材確保に向けた取組を進めていく。(市長)

ふらっとバスのルート見直しについて

問 ふらっとバスルートの選定には、地元の意見や利便性向上が最大限尊重されるべきであると考えますが、現行のふらっとバスルートの利便性改善、地元との利用促進協議や合意確認過程について聞くと。

答 ふらっとバスの利用促進については、ハード・ソフト両面から需要喚起やサービス向上に取り組んでいる。ルートを変更するには、路線バスとの競合を避けるとともに、周回時間や運行間隔などを勘案する必要があり、沿線住民の総意のもと、様々な観点からの協議が必要となる。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 災害復旧に係る他自治体からの支援・応援
- 2 北鉄への上下分離方式負担金
- 3 ふらっとバス決算とルート見直し、バスレーンの確保、夜間騒音対策
- 4 金沢市社協委託児童クラブと民生・児童委員確保
- 5 看護師、保育士、介護士等の人材確保策
- 6 公共施設の適正配置
- 7 デジタルミュージアム
- 8 旧馬場小学校校舎と跡地

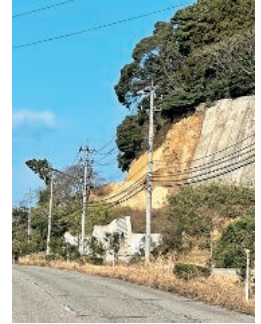


自由民主党金沢市議員会
坂本 泰広 議員



公共インフラに対する市長のビジョン

問 防災・減災に資する公共インフラ整備には惜しみなく予算を投じるべきと考えるが、能登半島地震を受けて今後の防災・減災のための強靱化に関する市長のビジョンを聞く。



答 これまでも公共インフラの長寿命化、強靱化に取り組んできたが、能登半島地震を受けて、その重要性が再認識された。防災・減災対策の推進は決して目立つ事業ではないが、行政の大切な責務であり、中期財政計画への反映、予算編成などを通じて対策の実践に努めていく。(市長)

災害時における情報収集

問 本市には災害時に情報収集と分析を行う専門部署がないが、特に危機的な災害時にどのようにして情報収集と分析を行うのか。

答 危機的な災害時の情報収集について、専門部署を常設しておくことは難しい。災害時には各局で収集した情報を防災情報システムに入力し、情報共有と一元化を図り、各局が連携して対応に当たる体制を整えているが、今回の地震では避難所の一斉開設や、多くの情報が寄せられたこと、元日という特異日であったことでの人員の配置によりシステムを十分に活用できなかったとっており、今後検証していく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 防災対策について
- 2 消防団員に係る施策について

令和6年度6月定例月議会 審議結果

■賛否などの態度が分かれた議案等（ ）については、議員別賛否一覧をご覧ください。

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

6月定例月議会の議案

議案番号	件名	本会議の結果		
------	----	--------	--	--

◇市長提出（議案22件、諮問1件）

議案第1号	令和6年度金沢市一般会計補正予算（第1号）	可	決	賛成多数
議案第2号	令和6年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第1号）	可	決	全会一致
議案第3号	令和6年度金沢市水道事業特別会計補正予算（第1号）	可	決	全会一致
議案第4号	令和6年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可	決	全会一致
議案第5号	金沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第6号	金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第7号	金沢市本社機能立地促進のための金沢市税賦課徴収条例の特例を定める条例の一部改正について	可	決	賛成多数
議案第8号	金沢市学校設置条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第9号	金沢市児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	可	決	全会一致
議案第10号	金沢市地区計画等の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第11号	金沢市がけ地防災工事資金融資条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第12号	金沢市公共下水道条例の一部改正について	可	決	全会一致
議案第13号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市立兼六小学校校舎移転整備工事（建築工事））	可	決	全会一致
議案第14号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市立兼六小学校校舎移転整備工事（電気設備工事））	可	決	全会一致
議案第15号	「委託契約の締結について」の一部変更について（高柳跨線橋耐震補強工事）	可	決	全会一致
議案第16号	財産の取得について（コミュニティバス）	可	決	全会一致
議案第17号	財産の取得について（消防用特殊車両）	可	決	全会一致
議案第18号	石川県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可	決	賛成多数
議案第19号	市道の路線認定について	可	決	全会一致
議案第20号	市道の路線廃止について	可	決	全会一致
議案第21号	金沢市監査委員の選任につき同意を求めるについて 中村哲郎氏	同	意	全会一致
議案第22号	金沢市監査委員の選任につき同意を求めるについて 高 誠氏	同	意	全会一致
諮問第1号	人権擁護委員候補者推薦に関し答申を求めるについて 西村依子氏 福島恵子氏 二木克明氏		諮問の おり答申	全会一致

◇議員提出（議案10件）

議会議案第1号	喜成清恵議員に対する議員辞職勧告決議	可	決	全会一致
議会議案第2号	共同親権を導入する改定民法の根本的な見直しを求める意見書	否	決	賛成少数
議会議案第3号	破損した太陽光パネルの危険性の周知を求める意見書	否	決	賛成少数
議会議案第4号	香害による健康被害の実態調査と実効性のある施策の推進を求める意見書	否	決	賛成少数
議会議案第5号	災害からの復旧・復興に係る支援の拡充を求める意見書	可	決	全会一致
議会議案第6号	教育環境の改善及び教職の重要性を踏まえた教員の処遇改善を求める意見書	可	決	全会一致
議会議案第7号	福祉事業に従事する人材の確保・育成に係る緊急対策を求める意見書	可	決	全会一致
議会議案第8号	生活保護世帯に対するエアコン設置の拡充を求める意見書	可	決	全会一致
議会議案第9号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可	決	全会一致
議会議案第10号	不登校児童・生徒等の健康を保障するための制度充実を求める意見書	可	決	全会一致

◇陳情（2件）

陳情第9号の1	金沢市街地付近における本格的な大型犬ドッグランの開設を求める陳情書	不採	択	賛成少数
陳情第9号の2	金沢市街地付近における本格的な大型犬ドッグランの開設を求める陳情書	不採	択	賛成少数

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けており、提出された議案の審査を行うほか、市政についての課題等を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	5月7日	・北陸鉄道線への行政の関わり方及び存在価値を高める取組の検討状況について ・職員用名札の変更について
	5月29日	・第1回金沢市都市再生緊急整備地域準備協議会の開催結果について ・公共施設LED照明導入推進事業におけるPFI方式の導入手続きの開始について
	6月24日	・金沢方式あり方検討懇話会の設置について ・令和5年度のふるさと納税の実績等について
経済環境常任委員会	4月30日	・「KOGEI Art Gallery 銀座の金沢」の運営状況と「珠洲焼特別展」の開催について ・公共施設におけるLED照明の導入促進について
	5月20日	・能登半島地震被災者等 合同就職相談会の開催について ・ホテルのまち創造事業について
	6月24日	・「次期ものづくり戦略」の策定について ・クマによる人身被害の発生について
市民福祉常任委員会	4月30日	・令和6年度能登半島地震災害見舞金の配分について ・「金沢市感染症予防計画2024（仮称）」の策定について
	5月27日	・健康都市連合への加盟について ・次期かなざわ子育て夢プラン策定のためのアンケート調査結果について
	6月24日	・令和6年度 新盆期間における野田山墓地周辺の臨時交通規制等について ・金沢市立病院「まちなかサロン」の再開について
建設企業常任委員会	4月30日	・「令和6年能登半島地震」による被害等について ・第4回「木の文化都市・金沢ミライまちづくり」学生提案事業について
	5月24日	・金沢市マンション管理適正化推進計画骨子（案）及びマンション管理計画認定制度（案）に係る意見公募について ・金沢市水害ハザードマップについて
	6月24日	・地域連携空き家等活用補助金交付要綱の一部改正について ・企業局 夏休み子ども教室について
文教消防常任委員会	4月30日	・令和5年度 第2回金沢マラソン組織委員会の開催結果について ・令和6年能登半島地震に伴う被災地区の復旧に向けた取組について
	6月3日	・運動部活動地域移行モデル事業の実施について ・学びの多様化学校設置検討委員会の設置について
	6月24日	・「夏休みかなざわ親子防災デー」の開催について ・新金沢型学校教育モデルについて

議会日誌

4月	
11日	議会広報委員会
30日	経済環境常任委員会、市民福祉常任委員会、建設企業常任委員会、文教消防常任委員会
5月	
7日	総務常任委員会
8日	議会広報委員会
9日	議会運営委員会
20日	経済環境常任委員会
24日	建設企業常任委員会
27日	市民福祉常任委員会
29日	総務常任委員会
6月	
3日	文教消防常任委員会
4日	都心軸再整備特別委員会、防災・復興特別委員会、公共交通特別委員会、議会運営委員会
11日	令和6年度定例会金沢市議会開会 金沢市議会6月定例会議会初日
	本会議（議案上程・提案理由説明）議会運営委員会、公共交通特別委員会、議会広報委員会
13日	議会運営委員会
18日	議会運営委員会
19日	本会議（質疑・一般質問）
20日	本会議（質疑・一般質問）
21日	本会議（質疑・一般質問）、議会運営委員会
24日	各常任委員会、議会運営委員会
25日	本会議（討論、採決） 議会運営委員会
	金沢市議会6月定例会議会最終日

委員会構成等の変更

喜多浩一議長が6月11日付で委員を辞任し、新たに高誠議員が委員に選任されるとともに、その後開催された委員会において委員長に選任されました。また、会派構成の変更等に伴い、下記のとおり委員構成に変更がありました。

◇公共交通特別委員会

【委員長】喜多 浩一（旧）高 誠（新）

◇中川 俊一議員

議会運営委員選任（6月11日付）

9月定例会議会の日程（予定）

9月2日（月）	本会議（議案上程・提案理由説明）
10日（火）	本会議（質疑・一般質問）
11日（水）	本会議（質疑・一般質問）
12日（木）	本会議（質疑・一般質問）
13日（金）	委員会審査
17日（火）	本会議（討論・採決）

※日程は変更することがあります。

議会広報委員会

【委員長】 麦田 徹 【副委員長】 坂本 順子
 【委員】 宇野 裕基 山本ひかる 山下 明希
 熊野 盛夫